

おれんじドアとは



仙台市に住む丹野智文さんは、2013年、39歳の時に若年性認知症の診断を受け、現在は企業で働きながら、当事者の支援や認知症の啓発活動を行っています。

2015年には認知症と診断されて不安の中にいる人が、先に不安を乗り越えた人と語り合い、元気になるようにと、『おれんじドア』をスタートさせ、いまや全国にこの活動が広がっています。名称の「ドア」には、認知症の人が、前を向いて新しい一歩を踏み出すための場にしたいという思いが込められています。

『ingハウスここから』はみんなのセカンドハウス！

特定非営利活動法人 ing（1993年～）では、これまで生涯学習として生老病死をテーマとした講座やボランティア養成を開催する中で「認知症」「若年性認知症」「認知症介護」について繰り返し学習の機会を作ってまいりました。2014年に安城市街地に開いた活動拠点『ingハウスここから』では「通いの場」として認知症カフェ『元気カフェ』を開催、また生活支援『お出かけ見守り隊』として直接認知症のご本人のお出かけのご支援、またご本人、ご家族、事業関係者の交流ができる場として『認知症を語ろう会』『たんぽぽカフェ（若年性認知症本人家族の会）』に取り組んでまいりました。その流れの中で認知症ご本人との出会いに後押しされ2025年より認知症ご本人のできること、したいことを中心とした『おれんじドアここから』を開催することとなりました。「ここから」元気と笑顔の時間が広がっていくことを願いつつ、日常を支える居場所づくりをしてまいります。



アクセス：

JR安城駅
南口より
徒歩2分

つくし訪問
看護ステーションさん
隣



高齢者地域生活支援等実施団体活動支援事業（厚生労働省推奨・安城市補助金事業）

後援：安城市／安城市社会福祉協議会

協力：安城市各地域包括支援センター